

暮らしのSDGs学習会 案内

千葉県地球温暖化防止活動推進センターでは、2014年度から2022年度までは、千葉県地球温暖化防止活動推進員世帯からのエネルギー使用量（CO2発生量）を調査し、家庭における削減量の把握に努めてきたのですが、今年中止となりました。気温上昇1.5℃以内とするパリ協定による日本の46%削減目標の中、家庭部門は2013年度比で2030年度に66%削減の達成が必須といわれています。そこで、これまで推進員実績10年間のロードマップを絶やさないよう、センターの協力を頂き、賛同いただいた推進員からのエクセル環境家計簿をもとに2023年度は温暖化防止ながれやまの脱炭素PJが纏めることになりました。今回の暮らしのSDGs学習会では脱炭素PJリーダーで環境管理士（1級）の平手彰氏が分析結果の概要を解説、これからの省エネのヒントを学びます。できるだけご自分の「環境家計簿」をご持参ください。

<第201回 暮らしのSDGs学習会>

1. 日時＝2024年8月9日（金）13：30～15：30
2. 会場＝流山市生涯学習センター（3F）会議室
<http://nagareyama-shougaigakushucenter.jp/access.html>
3. 内容＝23年度千葉県温暖化防止活動推進員のエネルギー消費量の一般家庭との比較、同推進員の過去実績との削減量の比較、増減の原因などを確認し今後の省エネ活動の方向、ヒント等について学習します。
4. 講師＝平手 彰（千葉県地球温暖化防止活動推進員、OBN会員）
5. 定員＝18名（定員に達した場合は締切ります）。
今回もZOOM発信はありません。
6. 申込＝筒井 義憲（Tel：090-3130-5541）
E-Mail tsutsu_1213_yoshi@yahoo.co.jp

主催	： 暮らしのSDGs学習会
実施	： 温暖化防止ながれやま（略称OBN）

<次回予定>

日時＝令和6年9月13日（金）13：30～15：30 会場＝流山市生涯学習センター
内容＝CAN-Japan の1.5℃へのアクション連続セミナー（全4回）の第1回
水素・アンモニア、CCSは脱炭素に貢献するか
説明＝筒井 義憲（CAN作成の動画を使い内容の説明を行います）